

PresSpray & PresSpray Plus Systems

No better airless spray design for die lubrication!

プレススプレー
オイル塗布装置

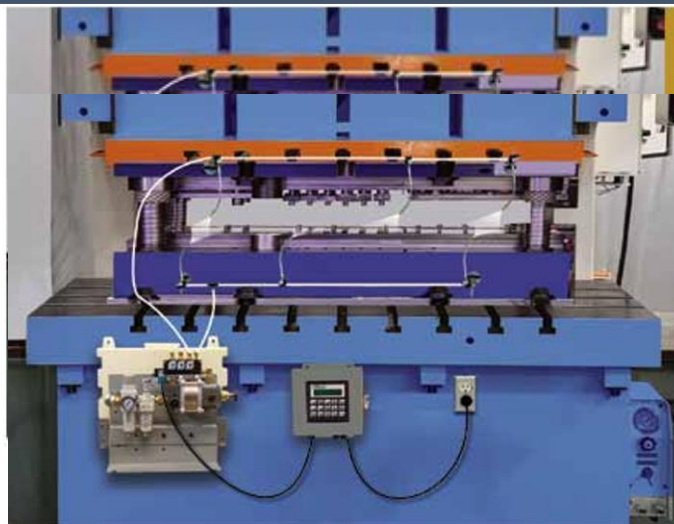
LSP[®]
INDUSTRIES, INC.



PresSprayのシステム

製品の主な機能のご案内

- ・ オイルとエアを混合しないため、霧を発生させずにオイルを塗布します
- ・ 金型の寿命を延ばします
- ・ オイルの無駄な消費を抑えます
- ・ オイルの塗布量を調整可能です
- ・ ワークや設備の洗浄コストを削減します
- ・ プレスやフィーダーの機械と連動して自動的に作動します
- ・ 優れた応答性で瞬時にオン／オフ切替が可能です
- ・ リザーブタンク式、ポンプくみ上げ式など、複数の給油方法をお選び頂けます
- ・ 多数のノズルオプションにより思い通りのオイル塗布が可能です



仕組みと構成

システムの心臓部であるエジェクタからオイルを十分な力で押し出すことで、エアが混合されていないスプレー状にしてオイルを塗布します。必要なノズルの数、オイルの粘度、作動方式、給油方式などからオプションを決定します。

アクチュエータ

エジェクタにオイルを塗布する信号を送ります。
詳細はP12-13をご参照ください。

マニホールド

すっきりとした設置を可能とし、各ノズルに向けてオイルを分配します。エジェクタに直接取り付けすることも離して取り付けることも可能です。詳細はP10をご参照ください。

ノズルアセンブリ

いくつかの種類からお選び頂けます。
ノズルの位置と向きを任意に調節可能です。
詳細はP11をご参照ください。

エアバルブ

アクチュエータから信号を受け取り、ユニットを起動させるためのエアを制御します。

エアフィルタ レギュレータ ルブリケーター (FRL)

空気圧の調整とユニットの潤滑を行います。

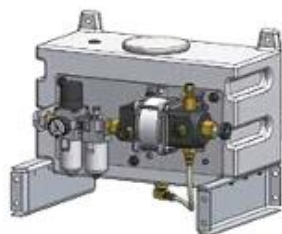
エア入口

ブラケット固定式

エジェクタ、FRL、マニホールドがプレートに取り付けられています。
リザーブタンクまたはポンプでの給油方式をお選び頂けます。
詳細はP6をご参照ください。

リザーブタンク給油式

リザーブタンク一体型のユニットです。
タンクが半透明なのでオイルの残量を一目で確認することができます。
ノズルとアクチュエータは別途ご注文となります。
詳細はP7-9をご参照ください。



ポンプ給油式

離れた場所の任意のタンクからオイルを吸い上げます。
大型のアプリケーションに適しています。
詳細はP15をご参照ください。



オイル出口

専用チューブやマニホールドに接続します。逆止弁が内蔵されています。

エジェクタ

オイルをエアレススプレーとして吐出します。
詳細はP4-5をご参照ください。

ボリュームコントロール

噴射するオイルの量を調節します。

オイル入口

リザーブタンクやポンプから送られるオイルの入口です。
逆止弁が内蔵されています。

機能とメカニズム



- ・ マニホールドから均等にスプレー
- ・ スピードコントロール機能でオイルの跳ね返りや飛ばし過ぎを防止
- ・ 用途に合わせた5種類のエジェクタを選択することで1~20本以上までのノズル数に対応
- ・ 幅広い粘度の油に対応
- ・ マニホールドとノズルを追加して拡張可能

ピストン&ラムアセンブリ

オイルを高圧で押し出してエアレススプレーを生み出します。ラムはステンレス鋼を研削研磨したもので長寿命化が図られています。

エアシリンダー

硬質アルマイト処理を施した厚肉アルミニウムチューブを使用することで軽量でありながら耐摩耗性に優れています。

取り付け用ブラケット

ねじ固定できるブラケットがすべてのユニットに付いており、これにより平面であればどこにでも取り付けが可能でです。

ユニバルブ

ピストンとラムの真後ろにあり、最速で最も効率よくPresSprayにエアを送ります。素早く排気を行うことで高速サイクルを可能にします。

スピードコントロール

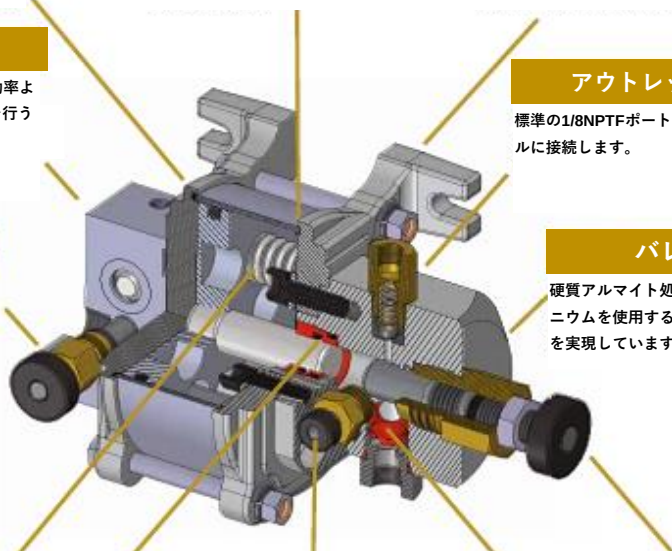
ピストン速度を調節することでスプレーされるオイルの勢いを適切に保ちます。粘度の低いオイルの飛ばし過ぎや跳ね返りを防ぎます。

アウトレットポート

標準の1/8NPTFポートからマニホールドやノズルに接続します。

バレル

硬質アルマイト処理を施したアルミニウムを使用することで高い耐久性を実現しています。



ばね式ピストン&ラム

ピストンとラムのスプリングリターンは超高速で作動することでエアの消費を抑え、経済的かつ効率的なパフォーマンスを実現しています。

パッキン押え

シールを包み込みオイルをエアから分離します。パッキン押えはピストンの動きに合わせてゆっくりと動きますので摩耗が少なくなります。

ブリードバルブ

ポンプ始動時のエア抜き用、ポンプ内の油抜きに使用します。

インレットバルブ

オイル吸い込み口の逆止弁は十分な大きさを備えており、サイクルごとに必要な量のオイルを供給します。

ボリュームコントロール

オイルの吐出量を調節します。つまみを回すだけで簡単に調節することが可能です。

エジェクタのサイズ

エジェクタはオイルを吐出させる部品です。少量から多量の吐出量に対応するため、いくつかのサイズがございます。各サイズ、それぞれに特徴がございますのでお客様の用途に合ったエジェクタをお選び頂けます。



MicroSpray P0100

1ストロークの最大吐出量がわずか0.16mlという極めて少量のオイルを塗布するためのユニットです。超微細スプレーや一滴のオイル塗布のご要望がある場合にはこちらのユニットが最適です。



MiniSpray P0400

P0100の4倍の供給能力があります。
1つのノズルで使用することを想定していますが、オイルの粘度によっては最大4つのノズルまで同時に使用することが可能です。
複数のノズルを使用することで金型の異なる場所に同時にオイルを塗布することが可能です。
P932、2ポートマニホールドが付属します。



MytiSpray P1250

粘度の高いオイルや多量のオイルを必要とする中規模のジョブに適したサイズです。金型に投入される前のワークにオイルを塗布することができます。金型の問題のある箇所を潤滑するのに十分な容量があります。水溶性の潤滑剤を使用する場合には最大10のノズルまで同時に使用可能です。また、スプレーの質を変化させずに1ストロークの塗布量を最少0.40mlまで減少させることができます。
P934、4ポートマニホールドが付属します。



MegaSpray P1350

大規模なジョブに最適です。
低粘度の潤滑剤を使用する場合には最大15のノズルまで同時に使用可能です。順送金型のすべてのステーションを1つのポンプで潤滑します。長い順送金型に使用するときは、エジェクタから約2.4m離れた場所までノズルを配置できます。
P934、4ポートマニホールドが付属します。

LSPのエジェクタは粘度の高いオイルを吐出させるパワーと粘度の低いオイルをコントロールする制御機能を兼ねそろえています。

一部分へのスポット潤滑から大きなパネル全体まで、幅広い用途をカバーします。複数のノズルを使用する場合、すべてのノズルから同じ量のオイルが同時に吐出されます。



MacroSpray P1750

粘度の高いオイルや多数のノズルを使用して広範囲の潤滑を可能にする特大サイズのエジェクタです。自動車生産工場、家電生産工場、その他の大型プレス加工メーカー向けです。大容量かつ高機能性を備えています。
P924、4ポートマニホールドが付属します。

オイルの粘度とノズルの最大数									エジェクタ仕様表			
型式	水溶性	100 SSU	250 SSU	400 SSU	800 SSU	1200 SSU	2000 SSU	2500 SSU	型式	1サイクルの容量 (ml)	spm	サイクルごとのエア消費量 (L/min)
P0100	1	1	1	1	-	-	-	-	P0100	.000-.016	700	0.02
P0400	4	4	2	2	1	1	-	-	P0400	.000-.065	450	0.09
P1250	10	8	6	5	3	2	1	-	P1250	.040-2.04	400	0.37
P1350	20	16	12	10	6	4	3	1	P1350	1.22-6.14	325	1.33
P1750	25	20	20	20	12	7	3	2	P1750	2.45-12.28	250	2.98

低粘度 → 高粘度

上記の表は目安であり、オイルの粘度やその他の条件によって結果が異なる場合があります。
チューブの長さが1.8mを超えるとパフォーマンスが変化する可能性があります。

ブラケットモジュール

ブラケットモジュール

ブラケットモジュールはPresSprayエジェクタと小型の単一ブラケット上に組み付けられたフィルタ、レギュレータ、ルブリケーター（FRL）などの部品で構成されています。モジュールには2ポートもしくは4ポートのマニホールドが付属しています。（MicroSprayにはマニホールドは付属しません）マニホールドを下流に取り付けることで見栄え良く簡潔な設置が可能となります。ブラケットモジュールを使用することで取り付け作業を短時間で効率的に行うことができ、お客様はスプレーノズル、リザーブタンク、ポンプ、アクチュエータの取り回しを決めるのみです。



すべてのPresSprayエジェクタはブラケットモジュールとして利用することができます。ブラケットモジュールはリザーブタンク、パワーポンプ、ダイヤフラムポンプのすべての種類からオイルを供給することが可能です。

ブラケットモジュール

エジェクタNo.	マニホールドアウトレット	モジュールNo.
P0100	1ポート	P7010
P0400	2ポート	P7040
P1250	4ポート	P7200
P1350	4ポート	P7300
P1750	4ポート	P7500

ブラケットモジュール（P7010を除く）にはマニホールド、継手、1.8mのチューブが付属します。

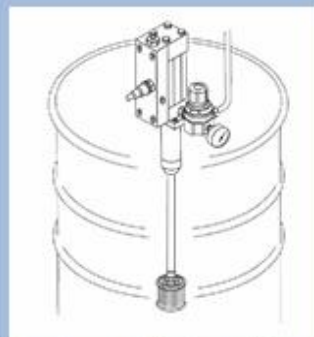
P7300ブラケットモジュールを使用したドラム缶からのオイルの供給

大規模な工程や長時間の稼働を行う場合は、ドラム缶などの大型容器から直接オイルを供給する方法が便利です。



MicroSprayブラケットモジュール

MicroSprayは単体ノズルで小型のプレスを潤滑するものです。ユニットはコントローラを使用して起動させます。このアプリケーションは極めて少量のオイルを塗布するため、コントローラからは3サイクルごとに信号が送られる設定になっています。



ポンプによるオイルのくみ上げ

ポンプはあらゆるサイズの容器に使用することができます。ポンプとPresSprayをホースでつなぎ、ポンプにエアを供給します。ポンプのエア抜きが完了するとオイルのくみ上げを行うことができます。PresSprayの運転で吐出された分のオイルを自動的にくみ上げて補充します。

リザーバーモジュール

リザーバーモジュールはリザーブタンクにブラケットモジュールを取り付けて構成されています。

リザーバーモジュールは自立式、プレスへのボルト固定式のどちらの使い方も可能で、ポリエチレン素材を使用しており過酷な環境にも対応します。

リザーブタンクの容量は5.7 L、9.5 L、19 L、38 Lからお選び頂けます。

リザーバーモジュールの種類を選定したら、次にアクチュエータとノズルの種類を選定します。マニホールドをエジェクタに直接取り付けるか、下流に取り付けるかを決めます。専用カート（PortaCart）を使用することで、必要なときに必要な場所にコンパクトかつ簡単に移動させることができます。リザーブタンク一体型のモジュールなので、箱から取り出してすぐにご使用頂けます。



P 7 5 1 0 リザーバーモジュール

写真は38 LリザーブタンクとP 1 7 5 0 MacroSpray のセットで、大規模な工程向けの大容量PresSprayです。4ポートマニホールド、FRLが付属しておりマニホールドはPresSprayユニットもしくはノズルの近くに取り付けることができます。

リザーバーモジュールにはリザーブタンク、エジェクタ、4ポートマニホールド、フィルタ、レギュレータ、ルブリケーター（FRL）が付属します。

モジュール

エジェクタ	マニホールド アウトレット	リザーバー	モジュールNo.
P0100	-	5.7 L	P7011
P0400	2ポート	5.7 L	P7041
P0400	2ポート	9.5 L	P7042
P0400	2ポート	19 L	P7045
P1250	4ポート	9.5 L	P7202
P1250	4ポート	19 L	P7205
P1250	4ポート	38 L	P7210
P1350	4ポート	19 L	P7305
P1350	4ポート	38 L	P7310
P1750	4ポート	19 L	P7505
P1750	4ポート	38 L	P7510

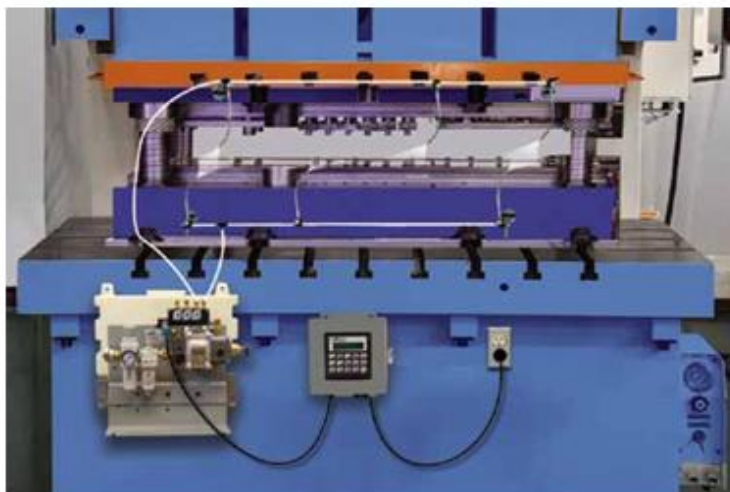
ブラケットモジュール（P7010を除く）には15 cmチューブとマニホールドが含まれています。

P 7 5 0 5 リザーバーモジュール

右の図は複数のノズルを使用した例です。

マニホールドを離れた位置に設置することにより、オペレータの視界を遮ることなく、作業の邪魔にもなりません。

2本のチューブで6つのノズルにオイルを供給しており、コンパクトかつ高効率です。



クイックチェンジシステム

クイックチェンジシステムにより必要なときにすぐリザーブタンクを交換することができます。

オペレーションの切り替えなどで異なる油種を使用する必要がある場合、1つのリザーブタンクを洗って使うよりも、予め用意しておいたもう1つのリザーブタンクと交換する方法をお勧めします。また、リザーブタンクの交換は簡単で時間がかからないため、オイルの補充によるダウンタイムを削減したい場合にも予備のリザーブタンクを備えておくことをお勧めします。

円形の蓋

直径約10cmの円形の蓋。簡単に給油や掃除をすることができます。フィルターが付いており給油時にゴミの流入を防ぎます。

ハンドル

リザーブタンクの片側にへこみがあることでタンクの交換時などにオペレータが持ちやすい形状になっています。

クイックジョイント（オス）

リザーブタンクがフレームから取り外されたときに油が漏れないようにシールします。本体に接続した際にバルブが開放されます。

フィルター、レギュレータ、 ルブリケータ（FRL）

フレームに取り付けられています。

メタルフレーム

壁やフロアに設置されたベースに取り付けるための耳が付いています。

P8102 9.5 L リザーブタンク
P8105 19 L リザーブタンク
P8110 38 L リザーブタンク

取り付け用ブラケット

予備のリザーブタンクを垂直面に取り付けるためのブラケットで壊れにくい設計になっています。

リザーブタンク

長方形で透明なため一目で残量の確認ができます。耐久性耐薬品性に優れたポリエチレンプラスチック製です。

ブラケット

一次的にフロアに仮置きする場合など、ジョイント部品の損傷を防ぎます。

エジェクタ

工場でフレームに取り付けられます。

クイックジョイント（メス）

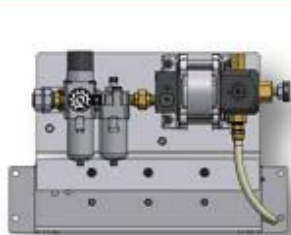
PresSprayユニットのオイル入口に取り付けられます。

ロックピン

リザーブタンクをクイックジョイント（メス）に合わせて上から降ろすことでリザーブタンクをフレームに固定できます。固定されたリザーブタンクを回転させるとフレームから取り外す

38 L リザーブタンクは満タン時の重量が約36 kg になります。そのため、タンクの半分程度まで給油した状態でフレームに据え付けてから残りの半分の給油する方法を推奨します。また、専用カート（PortaCart）のご利用を推奨します。

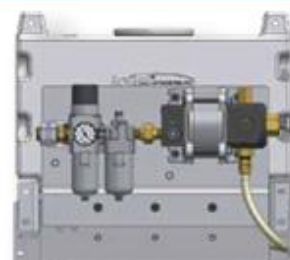
クイックチェンジシステムにより、油種を頻繁に切り替える際の清掃作業が不要になります。必要なときにすぐにリザーブタンクを交換できる設計になっています。



PresSprayはクイックジョイント（メス）が付いている金属フレームに取り付けられており、自動的にリザーブタンクからオイルが供給されます。ロックピンによりリザーブタンクとフレームが固定されます。



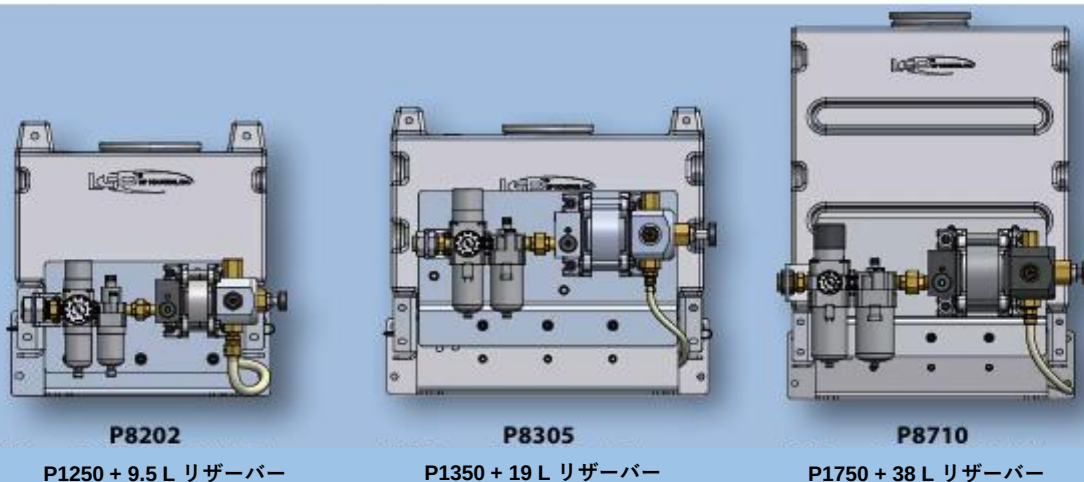
リザーブタンクにはブラケットが付いておりフロアに置くこともできます。ジョイント部分をフレーム側のジョイント部分に合わせて上から降ろすだけで簡単に取付けることができます。



リザーブタンクとフレームが結合されている状態であればバルブ開閉などの操作を行うことなく、すぐに製品をご利用頂けます。

クイックチェンジシステムのモジュール

リザーブタンクの容量、エジェクタ、アクチュエータ、ノズルの種類をお選び頂くだけでクイックチェンジシステムのモジュールをご利用頂くことができます。



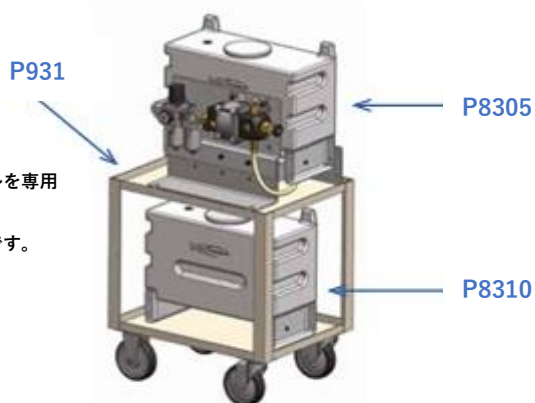
上の図はクイックチェンジシステムに対応するPresSprayユニットの例です。下の表はリザーブタンクの大きさに対応するPresSprayユニットの種類を表しています。リザーブタンクには金属製のブラケットが取り付けられており、クイックジョイント機能を保護しています。リザーブタンクとPresSprayユニットを接続する継手が付いており、リザーブタンクにオス型、ユニット側にメス型の継手がそれぞれ取り付けられています。オイルをろ過するためのフィルターが付属します。ノズルの選定はP10 - 11、アクチュエータの選定はP12をご参照ください。

エジェクタ	リザーバー容量		
	9.5 L	19 L	38 L
P0400	P8042	P8045	-
P1250	P8202	P8205	P8210
P1350	-	P8305	P8310
P1750	-	P8705	P8710

クイックチェンジリザーブタンク

右の図は19 L リザーブタンクとエジェクタのモジュールを専用カート（PortaCart）に乗せたものです。

機器が作業し易い高さに保たれており、かつ移動も簡単です。

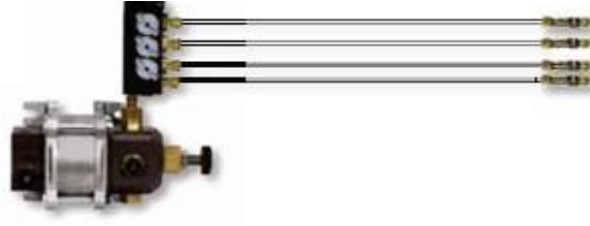


ノズルシステム

オイルの塗布範囲を最大限に保ちながらすっきりとした取り回しを実現するため、エジェクタにはノズルの取り付けや配置の方法に様々なオプションをご用意しております。ノズルを設置する場所に応じてマニホールドをエジェクタに直接取り付けるのか、あるいはプレスの近くに取り付けるのかを決めます。

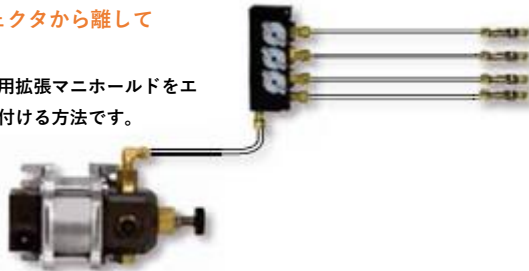
エジェクタに直接マニホールドを取り付ける

2ポート、4ポート、もしくはさらに大きな拡張マニホールドをエジェクタに直接取り付けて、そこから塗布エリアに向けてノズルを設置します。



マニホールドをエジェクタから離して取り付ける

2ポート、4ポート、専用拡張マニホールドをエジェクタから離して取り付ける方法です。



複数のマニホールドをエジェクタから離して取り付ける

複数のマニホールドを直列に配置してノズルの数を増やします。



金型内にノズルを取り付ける

金型内にノズルを設置することでオイル塗布の正確性向上と設定時間の短縮が可能になります。

マニホールドを拡張する

エジェクタから離れた場所に4つのノズルを取り付けています。ノズルをラム、プレス、下型に直接取り付ける場合は見栄えの良い仕上がりになります。



マニホールドの支持

エジェクタから離して取り付けるマニホールドの取り回し性を向上させるためのマグネットです。金属面であれば任意の位置に設置可能です。



ノズルの種類

多様なノズルとアクセサリの中からお客様の用途に合った製品をお選び頂けます。

P927 拡張ノズル

ベース付きノズルブラケット、ボスト、エクステンション、2つのスィベルによって長いリーチと調節性を得られます。ベースブラケットによりマグネット面にも取り付け可能です。



P925 ノズルブラケットホルダー

約15cmのロッド上での上下移動および360°回転によりノズルを最適なポジションに調節可能です。

P905 マグネットベース

P925スィベルベースに接続可能です。簡単に設置取り付けやノズルの調節が行えるようになります。

マグネット付きマグナチューブ

強力な磁石に取り付けられたフレックスチューブです。プレスのメンテナンス時などは簡単に取り外すことができます。

スタッド付きフレックスチューブ

取り付けブラケット付きのフレキシブルチューブに取り付けられたノズルです。取り付けブラケットは1/8NPTMで金型エリアに取り付けることができます。

1/8 NPTMのスタッドレスフレックスチューブ

片側に1/8 NPTM付きでフレキシブルチューブに取り付けられたノズルです。



P940 1/4" 高压用チューブ

P943 3/16" 高压用チューブ

専用の非金属製チューブです。代替品を使用するとスプレーパターンやオイルの吹き付けが悪くなる可能性がありますのでご注意ください。

すべてのノズルアセンブリに逆止弁が装着されています			PresSpray用 (P0100/P1000 を使用しない)	PresSpray用 (P0100/P1000 を使用する)	PresSpray用
接続サイズ			1/4" 圧縮	3/16" 圧縮	1/8" NPT
タイプ	サイズ	範囲	パーツNo.	パーツNo.	パーツNo.
逆止弁付きベーシックノズル	1.2cm 円型ボディ × 6.3cm ロング	95° 扇		P5010	
		110° 扇	P201	P5011	P251
		80° 扇	P202	P5012	P252
		65° 扇	P203	P5013	P253
		25° 扇	P205	P5015	P255
		15° 扇	P208		
		55° 円	P207		P257
		ドロップ		P5016	
逆止弁付きフレックスチューブノズルアセンブリ	1/8" NPT スタッドねじ 取付式 30cm ロング	110° 扇	P211		P261
		80° 扇	P212		P262
		65° 扇	P213		P263
		25° 扇	P215		P265
		55° 円	P217		267G
逆止弁付きマグナチューブノズルアセンブリ	マグネット 取付式 30cm ロング	110° 扇	P221		
		80° 扇	P222		
		65° 扇	P223		
		25° 扇	P225		
		55° 円	P227		
金型	2.2cm ロング	110° 扇			P241
		80° 扇			P242
		65° 扇			P243
		25° 扇			P245
		ドロップ			P246



圧縮継手付きベーシックノズル

LSP高压チューブに取り付けるための圧縮継手です。短い寸法なので狭い場所でも取り付け可能です。P925ノズルブラケットホルダーを併用するとスプレー位置の調節をさらに素早く行うことができます。



1/8" NPTネジ切り付きベーシックノズル

P926ノズル拡張に接続することも拡張バルブに直接接続することも可能です。



インダイノズル (1/8 NPTM)

金型に一体化させて恒久的な取り付けになります。セットアップ時間が短縮されるため生産効率が高まります。LSPクイックディスコネクトを使用することでオイルを供給するチューブを金型から取り外すことができ、金型をプレスから取り外すことができます。

アクチュエータ

PresSprayのサイクルには3種類のアクチュエータをご利用頂けます。1つめは、プレスの動作部品がウィスカーを動かすことで作動する機械式のアクチュエータです。2つめは、リミットスイッチから信号を受けてPresSprayを起動させるソレノイドバルブです。3つめは、プレスのサイクルに関係なく、予め設定されたサイクルで動作する電子タイマー式です。

ジョブに合ったアクチュエータをお選び頂けます

各エジェクタには次の4つのアクチュエータのいずれかで作動するエアバルブが付属しています。

電子コントローラは、プログラムすることでプレスの異なるサイクルで複数の動作を行うことを可能にします。

機械式アクチュエータは、エジェクタから1.5mの距離で操作することができ、磁石につけることができます。

電子タイマーは、プレスの繰り返しサイクルにおいて独立した動作を行うことができます。

ソレノイドバルブは、電気信号を受けて作動します。

機械式アクチュエータ



P901 機械式アクチュエータ

エアで作動するので電力を必要としません。エジェクタから1.5m離し、プレスの動作部分に近づけてください。可動部がプレスのサイクルごとに動力を伝達してアクチュエータがPresSprayを作動させます。

電子タイマーとバルブ



P3056 電子タイマー

エジェクタの動作をプレスのサイクルから切り離して自由なタイミングで作動させます。電子タイマーはロールフォーマーやスリッティングのような継続的な流れのジョブに適しています。SPMは1-120の間で設定可能です。

ソレノイドバルブ



P230 24V ソレノイドバルブ

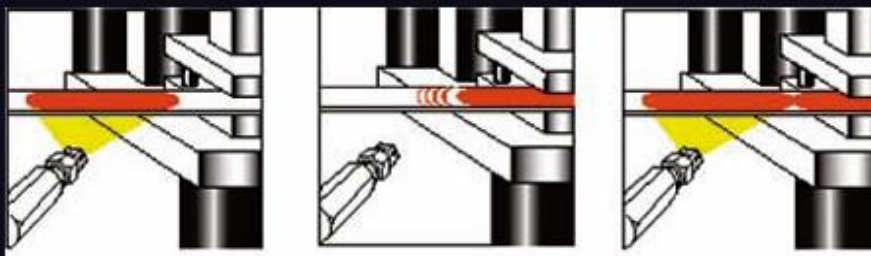
P912 110V ソレノイドバルブ
ソレノイドバルブはコントローラから電気信号を受信して作動します。電気スイッチに接続されたソレノイドが通電することでPresSprayが作動します。エジェクタの背面にあるユニバルブに直接取り付けるか、もしくは最大1.2mまで離れた場所まで取り付けることができます。

タイマーを使用したスプレーシーケンス

タイマーアプリケーション

高速サイクルでのプログレの場合、1サイクルごとに塗布するオイルは非常に少量になります。そのような場合には、機械式アクチュエータの代わりに電子タイマー式アクチュエータをご利用頂けます。プレスへのワーク投入と一致するタイミングでワークの長さに対応するにはより多量のオイルの塗布が必要です。

この用途ではエアとオイルの両方の消費を抑えながら高いクオリティのオイル塗布が可能です。少ない頻度で多くの量を吐出する方が効率がよくなり、制御も容易になります。スプレーノズルは適切な範囲に合わせて簡単に調節できます。



電子コントローラ

PresSpray用の専用コントローラです。近接センサーがプレスサイクルを検知してコントローラに信号を送ります。コントローラは受信した信号に従ってPresSprayにオイル塗布の指示を送ります。



E3300

入力口数：1 出力口数：1

E3302

入力口数：1 出力口数：2

タッチスクリーン式コンピュータ、ソレノイドバルブ、近接センサー、取付用ブラケットで構成されています。

機能

タッチスクリーン：プログラムのパラメータを視覚的に設定します。

ロックアウト：管理者のみが設定を変更できるように保護します。

タイムディレイ：PresSprayが信号を受信してから起動するまでの時間を設定します。

パルセータ：プレスの1サイクルごとにPresSprayを複数回作動させます。

カウンター：プレスサイクルの1～99の任意の回数ごとにPresSprayを起動します。

メモリ：ジョブごとの設定を保存することができます。メモリ機能で番号を呼び出すとすぐに起動します。最大99のジョブを保存できます。

E3315

タイマー

入力口数：1 出力口数：1

PresSprayを作動させる信号を繰り返し送信します。

この信号は1～99時間または1分あたり300回の頻度で調節可能です。

タイマーはプレスの各サイクルに紐づけされているわけではなく、プレス自体のON/OFFサイクルに紐づけされています。

オープンエンドコードが付属しており、センサーの代わりに使用されます。

プレスが稼働している間に起動される外部スイッチにこのコードを接続します。

スイッチがONモードではタイマーアクチュエータはON、スイッチがOFFモードではタイマーアクチュエータには通電されません。

過去のジョブを保存できるメモリが備わっています。

高速プレス、ロールフォーマーなどに適しています。

アクセサリ



P931 専用台車 (Portacart)

PresSprayを移動させるための専用台車です。上の図にはリザーバーモジュールの他にクイックチェンジモジュール用の予備のリザーブタンクが乗せられています。



磁力式残量検知とケーブル

P9034 5.7L / 9.5L リザーブタンク用
P9035 19L リザーブタンク用
P9036 38L リザーブタンク用
電子コントローラに直接接続します。



残量検知 (光でお知らせ機能付き)

P9030 5.7L / 9.5L リザーブタンク用
P9031 19L リザーブタンク用
P9032 38L リザーブタンク用
残量が少なくなると点灯します。



専用チューブ

P940 1/4" 高圧用チューブ (フレキシブル)
P943 3/16" 高圧用チューブ (フレキシブル)
P948 1/4" 銅製チューブ
P949 3/16" 銅製チューブ
P950 3/8" 高圧用チューブ (フレキシブル)



拡張バルブ

拡張バルブとタイロッドを連結することでコンパクトなマニホールドを形成します。マニホールドを形成するためのバルブの数に制限はありません。

4ポートマニホールドの代わりに使用できます。独自マニホールドの作成をご検討の場合には大石機械株式会社までお問い合わせください。



マニホールドカバープレート

P9012 : P1000 MicroSpray用
P9013 : P2000 MiniSpray用



クイックディスコネクト

エジェクタに接続するノズル。ノズルとダイスの切り離しを可能にします。ノズルが挿入された新しい金型はクイックディスコネクトで取り付けることができます。



V911

ユニオン 1/8 NPTM X 1/8 NPTM

多様なコンポーネントの着脱を簡単に行うことができます。

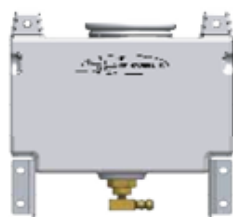
リザーブタンクとポンプ



P312-D 5.7 L リザーブタンク

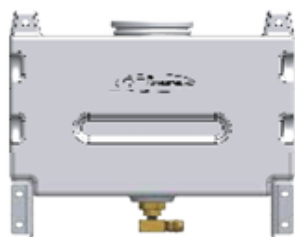
P315-D 19 L リザーブタンク

PresSpray Plus用重力落下式リザーブタンク。垂直 / 水平面に取り付け可能です。



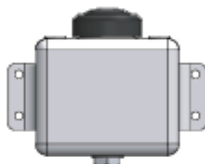
P7102 9.5 L リザーブタンク

PresSpray Plus用重力落下式リザーブタンク。垂直 / 水平面に取り付け可能です。



P7105 19 L リザーブタンク

PresSpray Plus用重力落下式リザーブタンク。垂直 / 水平面に取り付け可能です。



P7100 2 L リザーブタンク

P0100 / P1000用タンク。

●PresSprayユニットには様々な方法オイルを供給することができます。

●PresSprayから離れた場所からオイルを供給する場合、重力落下式リザーブタンクからオイルを供給するときにはPresSprayエジェクタより高い位置からオイルを供給する必要があります。

●エジェクタを作業領域の近くに取り付けることができるため、ノズルへの配管が減り、きれいな取り回しで設置することができます。

●重力落下式リザーブタンクはPresSprayエジェクタの大きさに応じた6種類があります。タンクは白色半透明で液面を一目で確認することができます。

●システムに接続するためのフィルターとチューブが含まれています。

●ブラケットが取り付けられているためリザーブタンク底面のジョイント部分が保護されます。

●P7310 ダイアフラムポンプによるオイルの供給を行う場合、距離が離れていても問題ありません。ポンプ1台で複数のPresSprayに対応します。

●上記以外にも様々な方法でのオイルの供給が可能ですので、カタログをご参照ください。



P7306 3.8 L 圧力ポット

加圧式リザーブタンク。エア取込口にレギュレータ、オイル出口にソレノイドバルブが装着されており、210kpaで作動する安全バルブ付き。



P7110 38 L リザーブタンク

重量がありますのでPresSprayエジェクタの上の水平面に取り付けてください。



P7310 ダイアフラムポンプ

1つのポンプで複数のPresSprayユニットにオイルを供給できる能力があります。約90cmの引き込み用のチューブとフィルターが付属しています。



P515 パワーポンプ

粘性のあるオイル用の加圧型エア式ピストンポンプ。



販売代理店

MACHINE COORDINATOR

OISHI

大石機械株式会社

本社 〒420-0033 静岡市葵区昭和町10番地

Tel 054-254-4304(貿易部) Fax 054-254-4300(貿易部)

製造元



Ver. 1.0.0

作成 2024年3月